

## 平成29年度 姉妹校等留学プログラム

### サレジオ学院、サレジオン・カレッジ短期交換留学

#### (1) 学校・団体名/種類（派遣高校生的人数）

サレジオ学院中学・高等学校／海外研修（2名）

#### (2) 渡航先

国／都市：オーストラリア／メルボルン

外国の高校：サレジオン・カレッジ

#### (3) 期間

平成29年7月29日～平成29年8月19日（22日間）

#### (4) プログラムの趣旨・目的

カトリックのサレジオ会に属するオーストラリアのメルボルンにあるサレジオン・カレッジとの間で語学研修や双方の文化の体験や交流を目的に、相互に授業期間に訪問し、それぞれの学校の通常授業と家庭でのホームステイ体験をする。

#### (5) 活動内容

- オーストラリアのメルボルンにあるサレジオン・カレッジと授業期間に生徒を派遣し合い、学校の通常授業やホームステイを体験
- 同じサレジオ会で、このプログラムを共に実施している目黒星美学園の生徒と体験・意見交換の実施
- 来校するサレジオン・カレッジの生徒を迎える

#### (6) 実績・成果

##### ○派遣高校生 HOさん・AKさん

私たちはこの夏オーストラリアのサレジオンカレッジに交換留学をしました。サレジオンカレッジは横浜市との姉妹都市であるメルボルンのサンベリーという自然豊かな街にある、小学校から高校の校舎が同じ敷地にある学校です。ホストファミリーや学校の友達、先生、地域の方は皆フレンドリーで良い方ばかりでした。挨拶の仕方などにも文化の違いを感じました。

学校に通い始めると、日本の制服の私たちを見ると遠くからでも大きな声で「コンニチハ!!」と言ってくれたり、自己紹介をしてくれたりしてくれました。色んな人が自己紹介を次々にしてくれるので名前を覚えるのが少し大変でしたが、聞き取れないことがあるとゆっくりと繰り返して言ってくれたりしてとても嬉しかったです。今でもよく彼らのことを思い出すほど、私は彼らのことが大好きです。

当たり前ですが、学校には日本と違う点が多くありました。まず制服ですが、女子はスカートとズボンが、男子は半ズボンと長ズボンが選択可能な様で、ズボンの女子や半ズボンの男子はとても新鮮でした。日本にも夏は暑い日に半ズボンを履きたくなる男子

やズボンを履きたい女子も居ると思うので、日本ではあまり進んでいないこの制度はともうらやましかったです。

授業風景もまたかなり違いました。日本では縦横そろえられた机に座って先生の話を聞きますが、オーストラリアでは上から見た机の形が台形で数個集めて円を作りグループワークをしながら授業をしていました。生徒数に対する先生の数も多く、先生と生徒との距離が小さいように感じました。そして何より、グループワークメインの授業だから日本の学校で見られる寝る生徒が全くいないのも新しい発見をしました。

授業は大学のように自分で授業を選択できる教科が多く、それぞれのクラスで違う友達がいる、しかも年齢も上下あるという環境はサレジアンカレッジならではのものだと感じました。日本では話すときに敬語を使ったりなど仲が良くても他学年の人とは、同学年とは少し違った関係になってしまうためオーストラリアで様々な学年の生徒が学年差など気にせず楽しそうに話しているのを見て日本語と英語での敬語の有無の差が感じられました。

日本に帰ってきてからもオーストラリアの友達やサンベリーの街並み、学校の雰囲気などすべてが大好きでよく思い出に浸っています。ホストファミリーとも学校の友達ともテレビ電話やSNSでまだ交流があるのも嬉しいです。

家での生活では、ステイ先（AKさんの）が牧場を営んでいて、とても広く、屋内プールなどもありました。

幸運なことに、その牧場の羊の出産に何回も立ち会うことができました。しかもその中の一つは三つ子でした。その他、週末に顔より大きいステーキを焼いてもらったり、ホストブラザーの友人の誕生日パーティーに行ってノリノリでダンスをしたり、それぞれ特別な体験をしましたが、それぞれが日々の生活の中で確実に英会話力がついたと思います。

この交換留学に参加できてとても良かったです。